


令和8年度 島根県教育センター 島根県教育センター浜田教育センター 教育研究発表会のお知らせ

島根県教育センターでは、教職員の皆様の参考になり、教育課題の解決の一助となることを目指し、調査・研究活動に取り組んでいます。この研究の成果を発信する場として、「多様な学びを支える教職員をめざして～問いをもち、探究し続ける～」というテーマで令和8年度教育研究発表会を予定しています。皆様のご参加・ご視聴をお待ちしております。

第1部	研究・研修成果発表【オンデマンド配信】 配信期間 令和8年6月4日(木)～7月31日(金)(予定) 指導主事の研究発表及び長期研修員の研修成果発表	
第2部	講演【オンライン・アーカイブ配信】 開催日時 令和8年6月4日(木)13:30～15:30(予定) アーカイブ配信期間 令和8年6月8日(月)～7月31日(金)(予定) 演題 「多様性を包摂する学校とは — 次期学習指導要領を踏まえて —」 講師 野口 晃菜 氏 一般社団法人 UNIVA 理事 中央教育審議会教育課程部会教育課程企画特別部会委員	

※島根県公立学校教職員は、本発表会の視聴をもって、**管理職セレクト研修、フォローアップ研修(2年目)の校外自主研修**とすることができます。なお、**フォローアップ研修(2年目)の校外自主研修は、第1部と第2部の全てを視聴することで、1日と扱います。**

※詳細につきましては、新年度に送付する第2次案内をご覧ください。

「使うか使わないか」の先へ—情報活用能力の抜本的向上を目指して—

「人」台端末が日常となった今、「使うか使わないか」という議論からは一歩先へ進む段階となっています。昨年9月に中央教育審議会が取りまとめた次期学習指導要領に向けた「論点整理」の第4章では、「情報活用能力の抜本的向上」が大きな柱として掲げられています。ICTは単なる道具ではなく、子供たちが生涯にわたり主体的に学び、自らの人生を舵取りするための「学習基盤」なのです。

令和3年度に文部科学省が実施した「情報活用能力調査」の分析によれば、従来の「鉛筆の持ち方」や「書き順」の指導と同様に、デジタルにおいてもキーボード入力等の基本操作やクラウドツールの活用、情報を扱う際の責任といった指導を、学校全体で組織的に進めることが重要です。こうした基盤的な力が習得されることで、探究学習における情報の収集・分析が円滑になり、児童生徒のより自律的・主体的な学びへとつながっていくことが期待されています。

今後、生成AI等の先端技術が普及する中で、それらをよりよく使いこなすためには、技術の特性を理解し、適切に選択・活用できる力が不可欠です。端末の活用自体を目的にするのではなく、その先にある「育成すべき資質・能力」へと、私たちの指導の視点を移していくことが必要なのではないでしょうか。

来年度、教育の情報化に関して、以下の研修をはじめとした様々な研修を予定しています。研修に参加して、指導の視点を共に磨いてみませんか。

【1332】校内の情報化を進めたい教員のための ICT活用推進実践講座

第1回 講師：京都教育大学講師 大久保紀一郎 氏
日程：6月11日(木)〈1日〉島根県教育センター
第2回 講師：島根県教育センター 指導主事
日程：11月26日(木)〈1日〉島根県教育センター

【1291】授業で育み活かす!子どもの情報活用能力育成講座

講師：中京大学教授 泰山 裕 氏
日程：11月13日(金)〈1日〉島根県教育センター

【1287】クラウドの強みを生かした授業デザイン講座

講師：島根県教育センター 指導主事
日程：Microsoft: 6月24日(水)
Google: 8月19日(水)
いずれも島根県教育センター

【1289】AI時代の教育情報セキュリティ講座

講師：柏市教育委員会 西田光昭 氏
日程：9月8日(火)〈午前〉オンライン

**令和8年度の研修は他にも・・・
詳しくは4月、研修情報システムにアクセス!**